

～チャイルド・ライフ・スペシャリストとは～

「慣れない病院生活におくる子どもたちに遊びを通して治療の内容を理解してもらったり、恐怖心を取り除くなど、心理的なサポートを行い、治療の円滑化と成長を支援する専門家。」



新聞記事に宮城県立こども病院で活躍する藤井さんの記事を読み、痛く感動！はじめて聞いた言葉でした。

しかし、子どもをひとりの尊厳ある存在として北米や、カナダ、香港では既に取り入れられています。英国では「ホスピタル・プレイ・スペシャリスト」として2000年の英国の統計によると97%の小児科に従事。病床比でも14床に1人配置されているとのこと。残念ながら日本では国家資格として認められていません。

この資格を取るには、アメリカや英国、香港、カナダ等で取得が必要となります。

平成16年3月の定例会議で府立の病院にも子どもの病院生活を支援するスタッフとしてチャイルド・ライフ・スペシャリストの配置を提唱しました。

その後、平成18年4月に大阪府立母子保健総合センターにホスピタル・プレイ・スペシャリストの資格を持つ後藤真千子さんが採用されました。

平成20年7月現在、大阪府母子保健総合センターではチャイルド・ライフ・スペシャリストの資格を持つ上田さんも活躍中です。

私が質問した時よりも、こういった専門家が働いている病院は増えたものの、子どもたち一人一人の生命の尊厳を考える時、日本においてはまだまだ、子どもの療育環境が立ち遅れている現状を痛切に感じる次第です。

ホスピタル・プレイ・スペシャリストの普及を

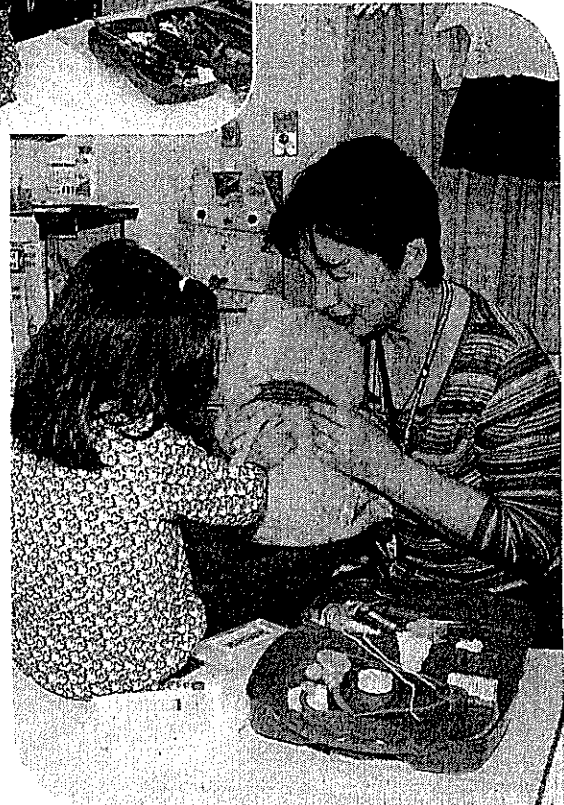
「遊び」で不安和らげ 治療もスムーズに



「ホスピタル・プレイ」の作業。注射や点滴などの際、治療の円滑化を図る

子ども側の側に立ち、医療に参画

大阪府立母子保健総合医療センター今年4月、「ホスピタル・プレイ・スペシャリスト」が誕生。その効果は注目が集まっている。ホスピタル・プレイ・スペシャリストとは、入院している子どもに遊びを通して治療の円滑化を図る役割を担っている。日本では、大阪府立母子保健総合医療センターが初めて、英国では、ロンドン大学が初めて、治療の円滑化を図る役割を担っている。ホスピタル・プレイ・スペシャリストの普及は、治療の円滑化を図る役割を担っている。



「ホスピタル・プレイ」の準備と準備。ホスピタル・プレイ・スペシャリストは、子どもに遊びを通して治療の円滑化を図る役割を担っている。

大阪府立母子保健総合医療センターで配置

「ホスピタル・プレイ」の作業。注射や点滴などの際、治療の円滑化を図る

「ホスピタル・プレイ」の作業。注射や点滴などの際、治療の円滑化を図る



大阪府立母子保健総合医療センターでホスピタル・プレイ・スペシャリストの後藤さん(右から3人目)から話を聞く(右から)三浦、長田の両府議員

資格新設など制度化図れ

「目からうろこの効果です」

「目からうろこの効果です」

医師、看護師らに
新しい世界
プレパレーションと
デイストラクション

このうち英国では、遊びを通してケアの要素を取り入れることで、心の負担の軽減や治療効果も期待できることになった。